

多言語・やさしい日本語による情報提供

## 埼玉県川口市 芝園団地自治会

「外国人住民生活情報伝達モデル事業」（2015 年度  
（平成 27 年度）～）

## ◆キーワード・・・・・・・・・・・・・・・・

前文で散りばめられたワードとのつながりを意識したキーワードを 2～3 記載

## ◆取組の概要・・・・・・・・・・・・・・・・

川口芝園団地の入居者の約半数が外国人住民となったことを背景として、外国人住民に対する効果的な情報提供の手段について検討を開始。

調査の結果、芝園団地の外国人住民（中国人が大半を占める）がコミュニケーションツールとして使用しているアプリは「微信」（「Line」と類似するツール）だと判明。「微信」の公式アカウントを取得し、テスト事業として情報提供を開始した（日本語と中国語）。

写真

## ◆取組の背景・・・・・・・・・・・・・・・・

「川口市多文化共生指針」（改訂版）（2014.6）策定時に実施した外国人住民へのアンケート調査で、川口市からの情報については、「友人、知人からの口コミ」で入手しており、市の広報やホームページが活用されていない実態が明らかになった。

口コミで伝わる情報は誤ったものも多く、市が伝えたい情報が正確に届かないという問題があることから、外国人住民に対し効果的な情報提供の手段について検討を行うこととなった。

## ◆取組のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・

### ○ 行政と地域との連携

かわぐち市民パートナーステーション、芝園団地自治会、UR都市機構、都市整備管理課で会議を立ち上げ検討

### ○ 調査結果に基づいた取組

芝園団地において外国人住民がコミュニケーションツールとして使用しているアプリケーションを調査し、その結果を基に、「微信」による情報提供を開始（2015.5～）

### ○ 配信する情報・頻度を工夫

自治会広報、イベント案内、管理事務所や市からのお知らせ、観光情報等を日本語と中国語で配信。読ませる工夫として様々な内容の記事を織り交ぜている。また、配信頻度は読者が飽きないよう月2～3回を目安としている。

## ◆取組による成果

- ・ 登録者数は、約1年で258人（2016年3月24日現在）、登録者数は順調に伸びている。
- ・ 記事閲覧割合も高い水準を確保
- ・ 団地内で開催されるイベントには多くの外国人住民が参加
- ・ 自治会では中国人の自治会役員が誕生

## ◆問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・

川口市 市民生活部 協働推進課

048-227-7607